

北の大地で輝く

<45>

北海道発モノづくり企業

「釧路には30社、千歳には20社の畑でダイコンをつくっている農家がある」。エフ・イーの佐々木通彦社長は北海道で展開されているダイコンの大規模生産の事情を説明する。もともと冷涼な気候が適している作物だけに、首都圏などでは秋から冬場にかけて旬を迎えるが、北海道の場合、釧路産の収穫期は7〜10月。夏場のダイコンとして全国各地に出荷されている。

ダイコン 傷なく大量洗浄

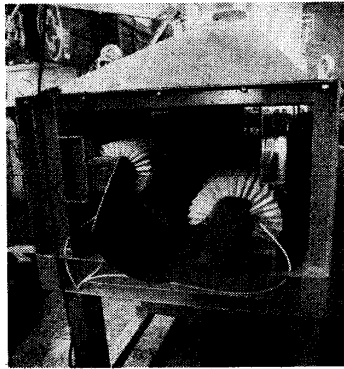
多彩な分野に応用装置

なすことができ、最大の機種は一日8時間稼働で60トンのダイコンが洗える。基本構造は、シャフトに付けたブラシを回転させることで先端に水の膜を形成し、表皮を傷つけず、農協の洗果場向けに受注生産していた洗浄プラントが元になっていた。だが、佐々木社長は「ダイコン洗浄機の技術を生かして展開する新事業は、洗浄と運動して行うダイコン加工機程度。たった20人の会社だから

売後、現在までの5年間累計120台を出荷している。ダイコン洗浄機の技術は多彩な分野の製品・装置開発に生かされている。九州の農家の依頼でつくったサツマイモ洗浄機は焼酎原料向け。浄水

根モノ野菜の洗浄に集中し「役に立つ情報と価値を提供している」と話す。とはいえ「小規模だから」というのが、モノづくりの大事話の本意ではない。顧客な役割」と考えている。であるダイコン農家を密

着し「役に立つ情報と価値を提供している」と話す。とはいえ「小規模だから」というのが、モノづくりの大事話の本意ではない。顧客な役割」と考えている。であるダイコン農家を密



葉付きダイコン連続洗浄機

エフ・イー



社長 佐々木

同社のダイコン洗浄機は、農協の洗果場向けに受注生産していた洗浄プラントが元になっていた。だが、佐々木社長は「ダイコン洗浄機の技術を生かして展開する新事業は、洗浄と運動して行うダイコン加工機程度。たった20人の会社だから

- ▽所在地 北海道旭川市、0166-36-45
- 01▽社長 佐々木通彦氏 資本金 1,500万円
- ▽売上高 3億3,000万円 (06年8月期見込み)
- ▽従業員 20人 設立 59年 (昭34)